

下水道がないとどんなことが起きるの？

世界には今も下水道がない国があります。下水道が整備されていない国では、川や海がよごれ、大雨が降るとしん水ひ害が発生します。また、下水道がないため、トイレを使うことができない人々がたくさんいます。



▲あわがういている川
(出典:日本下水道新聞)



▲大雨でしん水した街
(出典:ウェザーニューズ)



世界の約5人に1人にあたる15億人が、下水道がないことで、衛生的なトイレのない生活を送っている。



道ばたや草むらなど、屋外で用を足す人々がたくさんいる。



下水道が整備されると...

屋外で用を足すことなどで、ばいきんが人の手やハエなどの虫、川、地面などを介して体内に入って病気になり、1年で約52万5千人の小さな子供たちが命を落としている。



きれいなトイレで、用を足せるかん境づくりが、人の安心で快適な生活を支えます。

下水道がないと困ることがたくさんあるんだね。



水と衛生に関するユニセフの活動 ▶



下水道事業のSDGsへの関わり

下水道が整備されていることは、世界の大切な目標であるSDGsの達成に大きく関わってきます。例えば、生活で使って汚れた水を下水道へ流し、私たちの生活かん境をきれいに保つことは、SDGsの「6 安全な水とトイレを世界中に」へつながります。

そのほかにも、道路や地面に降った雨を雨水ますを通して下水道管へ流し、街をしん水から守ることや、汚水を水再生センターできれいにしてから川や海に返し、水かん境を守っていることも、SDGsの達成に関わる下水道の大切な役割です。



▲下水道と関係のあるSDGsの項目